

愛&ハート

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団

2020年度 事業報告

- 法人本部
- 愛の家
- あいハート須磨
- あいハート離宮前

2020年度 決算報告

あいハート須磨
増築工事進捗のご報告

新人紹介



253号

2021 June

法人本部

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(1) 情報発信ツールの創出

● 設立50周年を機に法人Webサイトを更改するとともに、新たに50周年記念Webサイトを制作しました。Webサイトについては今後の情報発信を強化していくための操作性やデザイン性を重視し、50周年サイトは汎用テンプレートを利用して自主制作を行いコスト削減に努めました。併せて、Webサイトの素材を活用して法人パンフレットを低コストで制作しました。



● 50周年記念誌を制作しました。メインコンテンツとして3つの座談会（元理事長、NTT労組役員、現職員）を実施するとともに、これまでの事業団の取り組みやイベント、思い出の写真等を収集し記念誌の本文構成を行いました（2021年4月に完成予定）。

2. 安心で信頼されるサービスの提供

● 法人中期ビジョンの一つである「質の向上」の実現に向け2022年度から法人内事例発表会の開催を予定していますが、各施設からの意見も踏まえ実施内容やスケジュール等を整理しました。次年度も継続して対応します。

3. 安定的で継続性をもった経営

(1) 投資計画の策定

● 各拠点における2024年度までの

収支予測に基づき、金融資産の予測、投資案件の再確認を行いました。あいハート須磨の土地無償貸与契約終了後の対応を検討する上での基礎資料として作成し、NTT担当者との会合において意思表示を示しました。

(2) 財務状況の健全化

● 前年度から取り組んできた新人事考課制度及び新賃金制度について、関連する規程類の改正や移行スケジュールの策定、考課者向けの研修の実施等、今年度からの導入運用に向け対応を行いました。

● 脳梗塞リハビリテーション神戸須磨（新規事業）の職員に対してWebサイト更新方法のレクチャーやセミナー実施後のフィードバック、助言など後方支援を行いました。

(3) 寄付金減少への対応

● 中期計画に掲げるNTT労組との連携の取り組みや設立50周年及びあいハート須磨増築をきっかけとした建設資金のカンパの企画検討を行いました。3月にはNTT労働組合中央本部他関連組織に対して増築カンパ支援の要請を行いました。

● 寄付募集施策として愛&ハートを活用し寄付に対する御礼文を掲載するとともに振替払込用紙を封入して寄付の依頼を行いました。結果、13件（個人）の寄付を頂戴しました。

(4) 人材確保と育成

● 高等学校進路情報フォーラム（進路指導の先生方との面談会）はリモート開催となり参加を見合わせましたが、前年度面談した先生方宛てに求人票や資料を郵送するとともに電話にて進路状況の確認を行いました。結果としては新型コロナウィルス感染症の影響もあり、関東や関西等の大都市への就職を希望する学生が大幅に減少し

たとの声も多く、今年度の就職に繋げることはできませんでした。

● ベトナムEPA介護福祉士候補生の受け入れについては現地説明会が中止となりましたが、施設や現候補生の協力を得て訴求ポイントを強調した施設PR資料の更新を行いました。結果、あいハート離宮前で1名の候補生とマッチングが成立しました。

● 法人Webサイト更改に併せて求人に特化したページを作成し母集団形成に努めました。

● 各施設から依頼に基づき迅速に無料求人サイトに掲載を行いました。

(5) 規律性や倫理観を持った法人運営（ガバナンスの更なる強化）

● 定例の理事会、評議員会については新型コロナウイルスの状況を鑑み、集合開催、リモート開催、決議の省略等、様々な方法で対応しました。



● 内部体制及び会計処理の整備に向け、申請様式等の統や業務フローを作成するとともに、会計担当者向けの研修会を企画、実施しました。

● パートタイム有期雇用労働法施行に伴う不合理な待遇差解消（同労働同一賃金の整備に向け、厚労省ガイドラインに基づいた点検を実施しました。社労士の協力を得ながら就業規則や賃金規程等、格差がある事項について改正を行いました。

4. 地域交流の推進

● 愛&ハートやWebサイトを通じて施設の取り組み内容を発信し、地域における施設の役割や存在意義を広く発信しました。

● あいハート須磨が「兵庫県地域サポート施設」として認定されたことにあわせ、Webサイトの新着情報バナーを掲載し発信しました。

5. その他

● 労働施策総合推進法の改正でパワーハラスメント防止措置が義務化されたことにより、各施設の管理職向けにハラスメント研修を実施しました。職場におけるハラスメント防止に関する規程の一部改定、ハラスメントNG周知文書を発信し、防止施策に努めました。

● 設立50周年記念式典を企画し、2021年1月開催予定で対応を進めていましたが、新型コロナウィルス感染症拡大を鑑み、一旦延期することとしました。

愛の家

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(1) 声の収集と課題の解決

① 地域のみなさまの「声」については、8件いただきました。利用者さんに関連するものが5件、施設への意見要望が3件でした。施設への意見要望では、近隣の方から運動場の遊具を使わせてもらいたい、また施設で招いた移動動物園に参加させてもらえないかというのがありました。遊具の利用については、ケガをした場合の事やきぼりのことも達の無断外出を防ぐために常に出入口を施錠していること、移動動物園に関しては、「コロナの感染拡大防止の観点から施設内だけにさせてもらっていることを説明させていただき

※後日、区長にも報告しご理解いただき

ました。今後、遊具については区内にもあるのをそれを使っていたかどうかを案内していただければとのことでした。

②利用者のご家族からの「声」については、帰宅や面会の自粛が続いたことから、「いつになったら再開できるのか?」という問い合わせがあった程度で、ご意見・要望はありませんでした。

③こども会議を通じた

こども達の「声」については、楽しみにしていたイベントが延期になったり、朝食のパン食への変更ができません



かつたりと、なかなか希望を叶えてあげることができませんでしたが、毎月のクッキングについては、こども達の意見を反映することができました。

②積極的な情報提供

①保護者会での情報提供については、度々中止がありましたが、開催時には事故や「声」、そして施設におけるコロナの対策状況や現状の報告、また他施設の動向等を適宜お知らせしました。

②施設での生活状況をお知らせしている「通知表」と施設行事等をお知らせしている「愛の家だより」については、帰宅や外出の自粛が続く施設行事がほとんどできず、記事を書くのに苦労しましたが、当初の予定どおり毎月発行することができました。

2. 安心で信頼されるサービスの提供

①安心・安全な食事の提供

①アレルギー食の誤提供の防止と利用者の健康維持（主に、体重の増減管理）のため、給食連絡会を開催し、確認を行いました。利用者の体重管理については、主食量の増減を中心に行いました。

また、汁物は温かいまま提供できるように、スープジャーを導入（12月試験実施、2月から本格実施）しました。

②残食の目立つ食材については、まずはこども達の好き嫌いによる残食を減らす取り組み（職員が食事の様子をよく観察し、声掛けをする）を行いました。味付けや食材の変更等については、職員からの意見を参考にを行いました。季節や行事での特別メニューは、給食連絡会で献立内容を確認、時には試食をするなど、利用者さんに楽しい食事時間を過ごしてもらえようようにしました。

②信頼性の向上

①信頼される施設を目指して、福祉サービス第三者評価を11月に受審しました。毎月の通知票やこども達の声に耳を傾けている「こども会議」については、高評価を頂きました。要改善事項としては、地域移行に向けた取り組み、生活介護スペース（作業棟）の確保、引継ぎ書のシステム化、職員の男女バランス（同姓支援の問題…男性が少ない）という内容でした。

②年2回の部門相互の内部監査は、8月と2月に実施しました。第三者委員会による毎月の現金監査は、コロナ禍の影響により委員会を開催出来ない月があったため、5担当×2回の監査予定が各担当1回のみとなってしまうました。特に問題はありませんでした。

③作業棟の建設については、中間期において収支状況が思わしくなかったことから中断しました。第三者評価で要改善事項として記載されていることもあり、次年度以降再度検討していくこととします。

③事故防止の取り組み

①日々の巡回による危険箇所等の早期発見と拡大防止については、発見の都

度、速やかな修繕に努めました。現場職員からすぐに声が上がってこないという課題が残りました。

②安全衛生委員会による職場点検については、7月（愛の家）、8月（グループホーム）、11月（工房みさき）に行いました。不適箇所は愛の家にて3か所ありました。部品調達の関係で当月内の改善はできませんでしたが、委員会の開催日までは完了しました。コロナウイルスの予防対策については、産業医の指導に基づき対策（発熱時の対応等）を行いました。

④防災への取り組み

①年2回の総合避難訓練（法定）については、8月と1月に実施しました。毎月の児童部職員による自主避難訓練については、計画どおり実施しました。

②停電時における水の確保については、行政と協議の上、停電又はポンプの故障時に直接水道管から給水できるように、9月に工事をを行いました。

③福祉避難所指定については、障害者施策推進協議会担当部に依頼を行ったのみで、主担当（危機管理担当）に話をすることはできませんでした。

3. 安定的で継続性を持った経営

①当初予算の必達

①きぼうとグループホームについては、利用率が向上したことで、無事達成できました。かがやきについては、利用者数が計画を下回ったため、達成できませんでしたが、工房みさきについては、利用者数の減少が影響したため、達

成できませんでした。

②加算獲得による収入の拡大については、9月に栄養士が復職したことから栄養士配置加算を確保することができました。

③部門毎のコスト管理を徹底については、日用品等の購入は一括大量購入等で抑えることができましたが、帰宅・外出できない影響による破損等の修理費用は抑えることができませんでした。

②安定した施設の運営

①卒業生を中心とした学校へのアプローチについては、コロナ禍の影響もあり、学校訪問ができなかったため、採用活動に結びつけることができませんでした。新卒（2022年春）学生向け求人サイト「TSUNORU」への掲載を新たに行いました。

②事業継続計画（BCP）の策定については、着手できませんでしたが、次年度で継続課題として取り組みます。



コロナ感染者発生に備え、防護服やフェイスシールド等の対策物を調達しました。10月には、クラスター発生施設に応援に行った職員が講師となり、防護服の着脱方法等について研修会を開催しました。

③グループホームの集約に向けた取り組みについては、建設して下さる地主さんが見つかりましたが、途中で間取り変更等が入ったことから、お断りをさせていただきます。その後、コロナのクラスター発生時のリスクもあることから、集約することの是非について改めて検討することとしました。

(3) 制度見直しに向けた対応

①新たな人事考課制度の運用に向けた取り組みについては、検討会や考課者研修を経て、今年度の評価から運用を開始しました。

②現行職員の再格付けと個別対応については、個人毎に順次実施しました。

(4) 職員の育成

①4月に採用した4名については、主任及びリーダーが主となって順調に育成でき、すでに夜勤にも入り、戦力となってくれています。

さらに、10月に高校生(40日勤務)、3月に大学生(6日勤務)を非常勤職員として採用することができました。4月に正職員として採用します。

②外部研修やセミナーについては、Webでの研修が中心でしたが、人気の研修などは参加枠が増えたことで受講することができました。各種の発表会等については、すべて中止となったため若手職員に体験してもらうことができませんでした。

4. 地域交流の推進**(1) イベント等での交流**

①50周年記念イベントの開催(2021年4月24日)に向けて、PTメンバーが中心となり進めてきましたが、残念ながらコロナの感染リスクを考慮し中止することとなりました。

保護者やお世話になった地域の方々には、記念品(ステンレスボトル)をお配りすることとしました。

②地域のイベントへの参加と地域の方々との交流については、コロナ禍の影響により参加できるイベントはありませんでした。施設のイベントについては、利用者と職員のみ限定し、外部への働きかけは行いませんでした。

(2) ボランティアの積極的な受入れ

①6月までは実習の受け入れを中止していましたが、その後は定期的に実習生を受け入れました。(6校・計27名)職員からの働きかけによって、実習後3名の方が非常勤職員として働いてくれています。

②ボランティアの受け入れについては、コロナ禍の影響により全てお断りさせていただきましました。

あいハート須磨**1. 利用者等への対応の充実と情報発信**

(利用者、家族、地域住民の要望に応える運営を行い、福祉社会への情報発信に努めます。)

(1) 情報発信ツールのリニューアル

●職員に対して画像データの使用に関する意向調査を行い、「施設における職員の画像等の使用に関する留意事項および同意書」を全職員から回収しました。



●現行ホームページに掲載している写真のリニューアルとスマホサイトの作成に向けた検討を行い、サイト制作や更改造業に関する業務委託契約を締結しました。

(2) 情報収集と課題解決の実施

●「お客様の声」として、9件のお申出をいただきました。

(3) 「地域における公益的な取組」状況の発信

●「NPO法人が主催する食事会の支援」と「地域住民が主催する「コミュニティカフェ」や体操教室の開催場所提供」が兵庫県「地域サポート施設」事業として認定されました。認定書を施設

内に掲示するとともに地域サポート施設のポータルサイトで事業内容を発信しました。

2. 安心で信頼されるサービスの提供

(安心、安全なサービスの提供と質の向上を図り、信頼獲得に努めます。)

(1) サービス向上の取り組み**① 人材育成**

●ノリフトケアコーディネーター研修や認知症ケア実践者研修等、育成計画に基づいた外部研修の受講を推進しました。

●新人事考課制度の運用開始に向け、全評価者を対象に評価者研修(全6回)を実施しました。

●特養役職者が接遇に関する指導者研修を受講、電話応対の内容等について部門内で水平展開しました。

●介護に関する知識を有しない新卒者向けに作成した新カリキュラム(初任者研修の内容を基に作成)で採用時研修を実施しました。

② ノリフトケアの導入・定着化

●全介護・看護職員を対象にノリフトケアの導入目的と意義を伝えるとともに、腰に負担がかからない介助方法に関する実践研修を実施しました。

●デイサービスに移動式リフトを導入、計画的に操作研修を実施しました。

③ 部門別重点施策の推進

●部門別中期計画(令和2年度～令和4年度の遂行により、サービスの向上及び各部門の「強み」を確立・強化に取り組みました。

(2) 防災・防犯対策

●特養入居者のご家族は面会時に入館証を着用していただくことにしました。但し今年度の面会はオンラインのみであったため、入館証の使用には至

っておりません。

●9月と3月に昼間・夜間想定法定避難訓練を実施しました。

●四半期毎にメーリングリストの現行化と安否確認訓練を実施しました。

● 防犯訓練とし

て須磨区主催

の防犯セミナーの内容(特殊詐欺の状況と対応策等)を基にした研修会を実施しました。

3. 安定的で継続性を持った経営

(社会的な要請への対応と法令遵守を基調に安定的で継続性をもった経営を行います。)

(1) 財務状況の健全化

●特養の増床計画が「神戸市介護保険施設等整備事業」として採択されたため、設計会社の選定を行い神戸市の設計審査および確認申請に向けた対応を行いました。

●独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付事業活用に向けた対応を行い、審査の結果、貸付内定通知をいただきました。借入申込資料の作成過程で、あいハート須磨の土地の無償貸与期間終了後(2023年9月)の方向性が整理されました。

●増床工事の着工に向けて、施工会社の選定や近隣住民への説明、神戸市への各種報告など必要な対応を行いました。

(2) 人材確保

●新卒求人サイトや福祉の就職総合フェアへの出展等によるアプローチを行いました。新卒採用には至りませんでした。

●無料求人サイトを基本に、スポットで有料広告媒体を利用して欠員補充を行いました。



●全職員を対象に個別面談を実施、各個人の希望や困り事等のヒアリングを行いました。その際、正職員に対しては、新賃金制度への移行に伴う影響の説明を行いました。

●EPA介護福祉士候補生（2018年度入国）の出産に向けた帰国対応を行うとともに、帰国後の学習サポートを行いました。

（3）特養・シヨート事業のマネジメント体制の見直し

●特養とシヨート事業に関するマネジメント体制の見直し（シヨート部門「長ポストの廃止」を実施するとともに、シヨートの業務運営体制見直しに向けた対応を行いました。

（4）新規事業（脳梗塞リハビリステーション）神戸須磨

●ホームページやYouTube、タウン誌発行会社主催のセミナー等で後遺症の改善事例を発信するとともに、DMと電話フォローによる営業活動を展開し、単月黒字を2度達成しました。

（5）計画的な改修工事の実施

●設備更改計画に基づき、受電設備の一部と貯湯槽内の熱交コイル、スチームコンベクション、食器洗浄機等の更改を行いました。

（6）あいハート須磨ユニオンとの連携強化

●①経営状況の共有
収支状況や次年度予算、「新賃金制度への移行に伴う影響」等について、意見交換を行いました。

●②労働環境の改善
時間外労働について、月別・部門別の「1人当りの平均時間」や「30時間以上の人数」を共有しました。

4. 地域交流の推進

（地域社会の活動拠点として、施設と利用者が地域社会の一員としての役割が果たせるよう取り組みます。）

るよう取り組みます。）

（1）ボランティアの受入推進

●4月と5月はボランティア受入を中止、6月以降、一部（NTT・OBによる植栽・施設内清掃、デイのドライヤー）受入を再開しました。

（2）イベント等の実施

●感染予防対策を行い、ご家族やボランティアの参加を制限してイベントを実施しました。

（3）自治会支援

●主な自治会行事が中止になったため、準備作業等の支援機会は発生しませんでした。

（4）「地域における公益的な取組の推進」

●須磨区社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット須磨）の活動に参画しましたが、具体的な実績には至りませんでした。

●「地域サポート施設」事業の実績としては、食事を支援（11月：4回（67食）、12月：2回（33食））、コミュニケーション（7月：11名、10月：21名、11月：14名）、体操教室（7月：7名、10月：9名、11月：6名）でした。

あいハート離宮前

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

（利用者、家族、地域住民の要望に応える運営を行い、福祉社会への情報発信に努めます。）

（1）情報収集と課題解決の実施

●「お客様の声」の用紙の配備に加え、専用のファイルをケアステーションに設置し、職員の聴き取りによる収集に注力しました。2020年度には主に職員の聴き取りによるもので47件のお客様の声が寄せられました。

●「お客様の声」のうち食席の配置に関するものや退居時の原状回復に係る修繕費負担に関する対応では一定の時間を要しましたが解決に至りました。

●BS放送の視聴を希望するものに関しては、業者を種々の理由・要件によりケーブルテレビJ:COMに絞り込みましたものの、新型コロナウイルス感染症対策により館内の調査などが進まず中断しております。

（2）情報発信

●上半期の運営懇談会は当初延期となりましたが、新型コロナウイルス感染症の関係で開催見込みが立たなかったため中止となりました。下半期の運営懇談会は書面での開催とし、全国有料老人ホーム協会の入居者保証制度の改定などについて説明し、必要な手続きを郵送で行いました。

●「あいハート離宮前通信」は月刊で発行するとともにホームページに掲載しました。また、やむなくご面会の制限をするなどご入居者の状況などを把握いただく機会が減少していたことから、毎月担当職員から近況報告のお手紙を、ご家族様にお送りしました。その他の情報発信ツールとしてインスタグラムを活用しフォローは280人を超えました。



2. 安心で信頼されるサービスの提供

（安心、安全なサービスの提供と質の向上を図り、信頼獲得に努めます。）

（1）サービス向上の取り組み

●《満足》を超える《感動》を生む介護サービスとは何かを、月例会議に於いて座談会方式にて具体的事例を持ち寄り、話し合うなど考える機会を持ち、

新たな提案を抽出しました。

●「フリーフトケア」3年目の取り組みにあたり、フリーフトケア委員会が中心となって理論や技術の勉強会を開催するとともに、新たに導入した中間浴の使用基準の評価を継続的に行いました。また、移乗用リフトの導入に向けた情報収集を行い、2機種のデモを実施しました。

●新型コロナウイルス感染症対策として入館や面会が制限される中、オンラインによるリモート面会を早期に導入しました。また、1階共用部には専用スペースを確保し、アクリルボード越しの面会を感染拡大状況により併用しました。アクリルボード越しでは会話が聞き取れないご入居者の為に、助聴器と筆談機を導入しました。

●新型コロナウイルス感染症対策として、外部講師によるアクティビティーが大幅に制限されましたので、専門的なノウハウの無い職員によって代替のアクティビティーが実施できるようにDVDや各種教材を導入しました。

●少人数ユニットケアの良さを維持しながら、ご入居者様の安全と安楽の更なる充実を図るため、見守りシステムの情報収集を行い、3メーカー（3機種）によるデモを延べ51日にわたり実施しました。（今般の介護報酬改定により、見守りシステムやインカメラの導入は、加算の算定や職員配置の緩和にも関連するなど、今後収支にも影響することを確認しました。）

●全入居者を対象に、6ヶ月ごとの定例のサービス担当者会議の前月に長谷川式スケールを実施し、ご家族様にとって見える化された客観的な指標としてお伝えしました。

●新しい爪ブラシや歯みがきティッシュを導入するなど、衛生管理の基準や方

法を抜本的に見直し、衛生委員会を中心にマニュアルと業務フローの改定をしました。また、口腔衛生管理体制加算の要件である「口腔ケア会議」を歯科衛生士も構成員として、毎月(年12回)開催をしました。



● バイタル・表情等から日々の体調や変化を把握して異常の早期発見に努め、体調不良を認めた際には24時間の連絡体制としました。嘱託医とLINE、電話等によりリアルタイムに連携を図りながら、重症化や入院の減少に努めました。(2020年度平均稼働率・99.0%)

(2) 事故防止と再発防止の取り組み

● 新型コロナウイルス感染症対策として、感染状況に応じた面会や外出の制限にご協力いただきました。また、職員には新しい生活様式を定着させるとともに、兵庫県の「新型コロナ追跡アプリ」の登録率を100%とし、日常生活の中での使用を促しました。

● ヒヤリハットは364件(前年度332件)の収集がありましたので、部門長が要素別・時間帯別・場所別にデータ化し、職員配置や業務フローを見直すなどホーム全体のリスクマネジメントに活用しているところです。一方で事故報告は軽微なものを含め191件あり、うち行政報告の対象となる事故は4件でした。(いずれも転倒による骨折事故)

● 兵庫県の介護ロボット導入に係る補助金制度に応募し、1,350千円の補助金を得てナースコール連動型見守りセンサー付き介護ベッド8台を導入しました。

(3) 防災対策

● 法定避難訓練(年2回)と自主訓練(神戸市シエイクアウト訓練等)を実施しました。

● 四半期毎にメーリングリストを活用した安否確認訓練を実施しました。登録率は概ね100%だったものの、返信率は第3四半期までは70%前後と低調でしたが、第4回に100%を達成しました。

3. 安定的で継続性を持った経営

(社会的な要請への対応と法令順守を基調に安定的で継続性をもった経営を行います。)

(1) 採用賃金と賃金改定内容の見直し

● 本部と連携して新賃金制度と人事考課制度の構築と移行作業、職員への再格付けの説明を行いました。また、新制度の説明会には対象となる全職員を出席させて理解を深めるとともに、考課者は考課者研修に参加をして制度の運用や評価基準の統一を目指しました。

(2) 入居時金の料金プラン改定への対応

● 新料金プランに則した待機者の発掘に主眼を置いた営業活動を事業計画としておりましたが、訪問は年度を通じて自粛せざるを得ず、DMやFAXを中心とした営業の展開となりました。

● 新料金プランに移行後のプラン別申し込み状況、償却益の動向・推移について把握し、定期的に経営会議にて報告をしました。

(3) 生産性の向上

● 申し送りや業務日誌、口腔ケアの実施や水分摂取量の記録など、従来手書きであったものを、介護業務支援システム(ほのぼの)へ移行させ、業務の効率化と生産性の向上を実現させました。

(4) 人材確保と育成

● 本部のサポートによりEPA介護福祉士候補者1名の採用が決定しました。

● EPA介護福祉士候補者の3年目からの夜勤業務の習得は実現しませんでした。一方で補助金を活用した実務者研修の受講機会を設け12月に修了(資格取得)しました。

● 労働基準法改正による有給休暇の取得基準(年次有給休暇の時季指定義務)は、年度末に部集中したものの全職員が達成しました。

● 新たに2名の職員が介護福祉士の国家資格を取得し、異動による職員を含め有資格者が80%を超えました。

● 施設長と職員との個別面談を実施し、悩みの相談やキャリアプラン、ホームの課題、職場への要望などについてヒアリングを実施しました。これらは24項目に分けて、内容が重複しているものは整理して98件に集約し、役職者による解決担当者を設定して緊急性の高いものから解決を目指しています。

(5) 当期資金収支差額の確保(最大化)

● 介護保険制度(介護報酬)改定に伴う各種加算要件等の情報収集に注力し、算定可能な全ての加算の算定ができるように体制や要件の確認と準備を行いました。

● 職員の募集広告に係るコストがほとんど発生しなかったこと、関西電力から11.5%の特約割引の条件が引き出せたことなど過年度比較でコストの削減が図れた費用があった一方、人件費や設備・備品の経年劣化による修繕費、屋上の受電設備に係る追徴課税等に加え、新型コロナウイルス感染症対策に係る衛生費や設備費が膨れたため事業活動支出は前年度を上回る結果となりました。

● 待機者や検討中のお客様に対して「あいハート離宮前通信」を送付するなど関係の維持に努め、退居後の早期契約を目指しました。

(6) 新規事業の検討

● 約165坪の隣地取得を前提とした有料老人ホームの増床計画についてシミュレーションをしましたが、多額の投資に見合う収益が期待できなかったこと、法人内に他に優先すべき投資案件があるとの認識で致したため一旦は見送ることとし、地域密着型特別養護老人ホームなど別の事業について情報収集を図ることとしました。

4. 地域交流の推進

(地域社会の活動拠点として、施設と利用者が地域社会の一員としての役割を果たせるよう取り組みます。)

(1) ボランティアの受入推進

● 新型コロナウイルス感染症対策により中庭の剪定など一部のボランティアを除き、書道や陶芸、太極拳、フラダンス、アロマ、茶道等のボランティア講師の受け入れがほぼ皆無となりました。

(2) イベント等の実施

● 納涼祭(夏祭り)や敬老祝賀会、クリスマス会はフロア別による密を避ける方法で小規模ながら実施しました。また、毎年実施していました地元小学校との交流会は断念することとなりましたので、職員が講師として小学校に赴き介護施設への理解を深めるための特別授業を実施し、小学生からは段ボールや厚紙、色紙で手作りしたゲームなどの寄贈を受けました。

● 外出の制限にご協力いただいておりますので、月替わりで館内の特定の場所に季節の飾りつけを施し季節感を味わっていただきました。また、秋には明石海峡大橋の袂にある舞子公園まで(外部の方との接触がないように十分注意しながら)ドライブ外出をしました。

2020年度 決算報告

▶法人単位資金収支計算書 (自)2020年4月1日 (至)2021年3月31日

(単位:円)

勘定科目			予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	609,739,000	607,015,583	2,723,417
		老人福祉事業収入	128,521,000	127,927,478	593,522
		児童福祉事業収入	81,865,000	82,155,920	△ 290,920
		就労支援事業収入	2,646,000	2,643,959	2,041
		障害福祉サービス等事業収入	355,829,000	355,021,138	807,862
		リハビリ等事業収入	10,319,000	10,132,100	186,900
		経常経費寄附金収入	19,184,000	22,341,981	△ 3,157,981
		受取利息配当金収入	943,000	961,265	△ 18,265
		その他の収入	13,036,000	14,057,169	△ 1,021,169
	事業活動収入計 (1)		1,222,082,000	1,222,256,593	△ 174,593
	支出	人件費支出	898,775,000	898,717,733	57,267
		事業費支出	179,713,000	173,012,179	6,700,821
		事務費支出	147,857,000	146,025,981	1,831,019
		就労支援事業支出	3,062,000	3,099,837	△ 37,837
		利用者負担軽減額		78,884	△ 78,884
		支払利息支出	2,604,000	2,601,732	2,268
		その他の支出	10,190,000	10,219,761	△ 29,761
		事業活動支出計 (2)	1,242,201,000	1,233,756,107	8,444,893
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		△ 20,119,000	△ 11,499,514	△ 8,619,486
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	2,015,000	3,422,822	△ 1,407,822
		施設整備等寄附金収入		120,000	△ 120,000
		固定資産売却収入	13,050,000	13,000,000	50,000
		施設整備等収入計 (4)	15,065,000	16,542,822	△ 1,477,822
	支出	設備資金借入金元金償還支出	30,856,000	30,854,580	1,420
		固定資産取得支出	59,767,000	58,500,492	1,266,508
		固定資産除却・廃棄支出	2,970,000	3,080,000	△ 110,000
		ファイナンス・リース債務の返済支出	5,970,000	5,497,020	472,980
		施設整備等支出計 (5)	99,563,000	97,932,092	1,630,908
		施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 84,498,000	△ 81,389,270	△ 3,108,730
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	63,622,000	87,922,506	△ 24,300,506
		その他の活動による収入	0	254,881	△ 254,881
		その他の活動収入計 (7)	63,622,000	88,177,387	△ 24,555,387
	支出	積立資産支出	7,645,000	7,939,000	△ 294,000
		その他の活動による支出	1,000	145,762	△ 144,762
		その他の活動支出計 (8)	7,646,000	8,084,762	△ 438,762
		その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	55,976,000	80,092,625	△ 24,116,625
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 48,641,000	△ 12,796,159	△ 35,844,841	
前期末支払資金残高 (12)		367,933,810	367,933,810	0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)		319,292,810	355,137,651	△ 35,844,841	

▶法人単位事業活動計算書 (自)2020年4月1日 (至)2021年3月31日

(単位:円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A) - (B)
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	607,015,583	670,784,162	△ 63,768,579
		老人福祉事業収益	127,927,478	123,766,145	4,161,333
		児童福祉事業収益	82,155,920	73,504,927	8,650,993
		就労支援事業収益	2,643,959	3,376,228	△ 732,269
		障害福祉サービス等事業収益	355,021,138	341,935,395	13,085,743
		リハビリ等事業収益	10,132,100	1,576,500	8,555,600
		経常経費寄附金収益	22,341,981	32,130,475	△ 9,788,494
		サービス活動収益計(1)	1,207,238,159	1,247,073,832	△ 39,835,673
	費用	人件費	902,572,858	867,860,142	34,712,716
		事業費	173,012,179	177,727,959	△ 4,715,780
		事務費	146,025,981	162,983,786	△ 16,957,805
		就労支援事業費用	3,099,837	3,524,367	△ 424,530
		利用者負担軽減額	78,884	192,079	△ 113,195
		減価償却費	84,853,200	85,261,308	△ 408,108
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 24,117,280	△ 23,645,159	△ 472,121
		徴収不能額		1,200	△ 1,200
		徴収不能引当金繰入		19,434	△ 19,434
		サービス活動費用計(2)	1,285,525,659	1,273,925,116	11,600,543
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△ 78,287,500	△ 26,851,284	△ 51,436,216
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	961,265	1,376,998	△ 415,733
		その他のサービス活動外収益	15,343,372	16,370,167	△ 1,026,795
		サービス活動外収益計(4)	16,304,637	17,747,165	△ 1,442,528
	費用	支払利息	2,601,732	2,801,583	△ 199,851
		その他のサービス活動外費用	10,803,787	12,073,189	△ 1,269,402
		サービス活動外費用計(5)	13,405,519	14,874,772	△ 1,469,253
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		2,899,118	2,872,393
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△ 75,388,382	△ 23,978,891	△ 51,409,491	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	3,422,822	31,900,000	△ 28,477,178
		施設整備等寄附金収益	120,000		120,000
		その他の特別収益	12,990	9,000	3,990
	費用	特別収益計(8)	3,555,812	31,909,000	△ 28,353,188
		基本金組入額	120,000		120,000
		固定資産売却損・処分損	13,709,044	470,499	13,238,545
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		△ 1	1
		国庫補助金等特別積立金積立額	3,422,822	31,900,000	△ 28,477,178
		特別費用計(9)	17,251,866	32,370,498	△ 15,118,632
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 13,696,054	△ 461,498	△ 13,234,556
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△ 89,084,436	△ 24,440,389	△ 64,644,047
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		46,642,804	58,012,921	△ 11,370,117
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		△ 42,441,632	33,572,532	△ 76,014,164
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)		83,523,682	14,360,578	69,163,104
	その他の積立金積立額(16)		880,424	1,290,306	△ 409,882
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		40,201,626	46,642,804	△ 6,441,178

資 産 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	428,927,490	414,104,246	14,823,244
現金預金	241,252,304	221,682,704	19,569,600
事業未収金	177,889,850	182,861,507	△ 4,971,657
未収補助金	1,587,000	0	1,587,000
貯蔵品	805,416	534,756	270,660
立替金	98,614	93,158	5,456
前払費用	7,041,606	8,639,894	△ 1,598,288
仮払金	252,700	292,227	△ 39,527
固定資産	2,248,049,637	2,371,853,580	△ 123,803,943
基本財産	996,737,394	1,043,467,116	△ 46,729,722
土地	217,941,374	217,941,374	0
建物	777,796,020	824,525,742	△ 46,729,722
定期預金	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産	1,251,312,243	1,328,386,464	△ 77,074,221
土地	190,356,265	190,356,265	0
建物	503,825,612	533,676,566	△ 29,850,954
構築物	18,172,243	18,138,216	34,027
車輛運搬具	728,588	1,832,360	△ 1,103,772
器具及び備品	28,524,929	25,255,656	3,269,273
建設仮勘定	46,911,500	3,280,000	43,631,500
有形リース資産	7,896,706	11,618,200	△ 3,721,494
権利	41,977,656	41,982,656	△ 5,000
ソフトウェア	598,002	754,002	△ 156,000
無形リース資産	5,301,614	7,651,224	△ 2,349,610
長期貸付金	400,000	400,000	0
退職給付引当資産	57,567,086	55,767,462	1,799,624
建設修繕積立資産	237,266,081	283,269,420	△ 46,003,339
備品等購入積立資産	4,939,539	42,460,331	△ 37,520,792
施設整備等積立資産	28,000,000	28,000,000	0
基金積立資産	17,525,083	16,644,773	880,310
措置施設繰越特定積立資産	6,000,000	6,000,000	0
差入保証金	3,056,100	3,056,100	0
長期前払費用	669,540	767,534	△ 97,994
その他の固定資産	51,595,699	57,475,699	△ 5,880,000
資産の部合計	2,676,977,127	2,785,957,826	△ 108,980,699
負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減
流動負債	147,255,377	120,376,075	26,879,302
事業未払金	70,285,145	44,657,512	25,627,633
その他の未払金	31,055,729	30,854,577	201,152
1年以内返済予定設備資金借入金	4,813,920	5,497,020	△ 683,100
1年以内返済予定リース債務	173,840	153,920	19,920
未払費用	6,320	0	6,320
職員預り金	2,375,208	792,339	1,582,869
仮受金	2,895	46,899	△ 44,004
賞与引当金	37,578,320	37,834,608	△ 256,288
未払消費税等	964,000	539,200	424,800
固定負債	520,632,924	546,833,468	△ 26,200,544
設備資金借入金	352,482,319	383,538,051	△ 31,055,732
リース債務	8,433,680	13,821,684	△ 5,388,004
退職給付引当金	85,719,090	82,595,898	3,123,192
長期預り金	73,997,835	66,877,835	7,120,000
負債の部合計	667,888,301	667,209,543	678,758
純 資 産 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減
基本金	1,201,131,979	1,201,011,979	120,000
第1号基本金	1,201,131,979	1,201,011,979	120,000
国庫補助金等特別積立金	474,024,518	494,718,976	△ 20,694,458
その他の積立金	293,730,703	376,374,524	△ 82,643,821
建設修繕積立金	237,266,081	283,269,420	△ 46,003,339
備品等購入積立金	4,939,539	42,460,331	△ 37,520,792
施設・設備整備積立金	28,000,000	28,000,000	0
基金積立金	17,525,083	16,644,773	880,310
措置施設繰越特定積立金	6,000,000	6,000,000	0
次期繰越活動増減差額	40,201,626	46,642,804	△ 6,441,178
(うち当期活動増減差額)	△ 89,084,436	△ 24,440,389	△ 64,644,047
純資産の部合計	2,009,088,826	2,118,748,283	△ 109,659,457
負債及び純資産の部合計	2,676,977,127	2,785,957,826	△ 108,980,699

監 査 報 告 書

2021年5月17日

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団
理 事 長 嶋 本 佳 和 様

監 事 清水 照明
監 事 村山 盛光

私たち監事は、2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類(計算書類及びその附属明細書)及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要会計な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

貸借対照表科目		場所・物量等		取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部								
1 流動資産								
現金預金		—				—	—	241,252,304
現金	現金手許有高	—			運転資金として	—	—	86,742
預り現金		—			一時預かり現金	—	—	25,022
事務局預り現金		—			事務局預り現金	—	—	35,500
普通預金		—				—	—	241,105,040
普通預金 本部				小計				60,709,198
普通預金 須磨				小計				46,191,410
普通預金 愛の家				小計				122,561,481
普通預金 離宮前				小計				6,806,605
普通預金 リハビリ事業	近畿労働金庫							4,836,346
事業未収金		—				—	—	177,889,850
事業未収金 国保連	国保連他				3月分介護報酬他	—	—	130,846,630
事業未収金 利用者	利用者				3月分利用者負担金他	—	—	36,270,664
事業未収金 その他	市町村他				受託事業他	—	—	10,790,125
事業未収金 (徴収不能引当金対応分)		—				—	—	△ 17,569
未収補助金		—				—	—	1,587,000
貯蔵品	入居施設他	—			事業消耗品他	—	—	805,416
立替金	利用者他	—			入居者立替金他	—	—	98,614
前払費用	兵庫県社会福祉協議会	—			施設賠償保険他	—	—	7,041,606
仮払金	職員他	—			入居者買い物費用他	—	—	252,700
流動資産合計								428,927,490
2 固定資産								
(1) 基本財産								
土地	(知的障害児施設(入所)「きぼう」 大阪府泉南郡淡輪1600番地の2 (施設入所「愛の家」)大阪府泉南郡淡輪1600番地の2 (施設入所「愛の家」)大阪府泉南郡淡輪1600番地の4	— — —		第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している 第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している 第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している	— — —	— — —		64,887,467 143,753,907 9,300,000
			小計					217,941,374
建物	(あいハート須磨拠点) 神戸市須磨区松風町4丁目1番地 鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付3階建 3749.93㎡ (きぼう拠点)(愛の家拠点) 大阪府泉南郡岬町淡輪1600番地の2 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 総合福祉施設1棟、 附属建物コンクリートブロック造垂鉛メッキ鋼 板葺平家建築庫庫・ポンプ室 2481.37㎡ (愛の家拠点) 大阪府泉南郡岬町多奈川谷川1658番地1、 1685番地10、1674番地 鉄骨造ルーフィング葺平家建、附属建物軽量鉄 骨造垂鉛メッキ鋼板葺平家建作業所 433.05㎡	1995年度 2001年度 2003年度		第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している 第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している 第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している	1,471,169,555 618,753,415 101,252,851	999,275,216 367,474,699 46,629,886	471,894,339 251,278,716 54,622,965	
			小計					777,796,020
定期預金		—				—	—	1,000,000
基本財産計								996,737,394
(2) その他の固定資産								
土地	(就労継続B型「工房みさき」) (有料老人ホームあいハート離宮前) 神戸市須磨区離宮前2丁目165番2	— —		第2種社会福祉事業である就労継続支援B型に使用している 公益事業である、有料老人ホーム等に使用している	— —	— —		356,265 190,000,000
			小計					190,356,265
建物	(あいハート離宮前拠点区分) 神戸市須磨区離宮前2丁目165番2 (あいハート須磨拠点)(きぼう拠点)(愛の家拠点) (脳梗塞リハビリサービス拠点) 建物付施工事他	2013年度 —		公益事業である、有料老人ホーム等に使用している 第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している	592,876,467 114,847,779	180,816,468 23,082,166	412,059,999 91,765,613	
			小計					503,825,612
構築物	農地水路工事 他14件	—		第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している	35,040,755	16,868,512	18,172,243	
車輛運搬具	アクティバン 他5件	—		利用者送迎用	8,863,530	8,134,942	728,588	
器具及び備品	耐火金庫 他276件	—		第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している	147,893,989	119,369,060	28,524,929	
建設仮勘定	あいハート須磨 増床工事他	—		あいハート須磨 増床工事他	—	—	46,911,500	
有形リース資産	ハイエースウェルキャブ 他8件	—		第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している	27,506,196	19,609,490	7,896,706	
権利	近畿労働金庫出資証券 あいハート須磨電話架設権利他	— —		第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している 第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している	— —	— —	40,598,000 1,379,656	
			小計					41,977,656
ソフトウェア	給与計算ソフト 他4件	—		第1種社会福祉事業である、知的障害者入所施設等に使用している	1,399,500	801,498	598,002	
無形リース資産	ほのぼのシリーズ 他1件	—		第1種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム等に使用している	10,676,124	5,374,510	5,301,614	
長期貸付金	職員	—		就職支度金貸付	—	—	400,000	
退職給付引当資産	大阪府民間共済他	—		事業主負担掛金累計額	—	—	57,567,086	
建設修繕積立資産	近畿労働金庫 普通預金	—		将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	325	
	近畿労働金庫 神戸支店	—		将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	90,000,000	
	池田泉州銀行 定期預金	—		将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	6,200,000	
	近畿労働金庫 定期預金	—		将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	27,700,000	
	近畿労働金庫 定期預金	—		将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	8,000,000	
	近畿労働金庫 定期預金	—		将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	37,000,000	
	池田泉州銀行 定期預金	—		将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	58,000,000	
	近畿労働金庫 普通預金	—		将来における施設整備、修繕の目的のために積み立てている	—	—	10,365,756	
			小計					237,266,081
備品等購入積立資産	近畿労働金庫 定期預金他	—		将来における備品等購入の目的のために積み立てている	—	—	4,939,539	
施設整備等積立資産	近畿労働金庫 定期預金	—		将来における施設整備・修繕の目的のために積み立てている	—	—	28,000,000	
基金積立資産	近畿労働金庫 普通預金	—			—	—	17,525,083	
措置施設繰越特定積立資産	池田泉州銀行 定期預金	—		将来における施設整備・人件費の目的のために積み立てている	—	—	6,000,000	
差入保証金	エクセル賃貸システム他	—		グループホーム賃貸敷金	—	—	3,056,100	
長期前払費用	全国有料老人ホーム協会	—		入会金	—	—	669,540	
その他の固定資産	長期預り金特定預金	—		入居一時金特定預金	—	—	51,595,699	
その他の固定資産合計								1,251,312,243
固定資産合計								2,248,049,637
資産合計								2,676,977,127
Ⅱ 負債の部								
1 流動負債								
事業未払金	業者支払他	—			—	—		70,285,145
1年以内返済予定設備資金借入金	近畿労働金庫 福島支店	—			—	—		31,055,729
1年以内返済予定リース債務	車輛リース他	—			—	—		4,813,920
未払費用	大阪府民間共済掛金	—			—	—		173,840
預り金	源泉所得税預り金	—			—	—		6,320
職員預り金	源泉所得税預り金 社会保険料預り金 住民税預り金	— — —			— — —	— — —		496,829 1,384,379 494,000
			小計					2,375,208
仮受金	共同購入費用	—			—	—		2,895
賞与引当金	賞与支給見込み額の内当期帰属額	—			—	—		37,578,320
未払消費税等	令和2年度確定消費税	—			—	—		964,000
流動負債合計								147,255,377
2 固定負債								
設備資金借入金	近畿労働金庫 福島支店	—			—	—		352,482,319
リース債務	車輛リース他	—			—	—		8,433,680
退職給付引当金	退職共済期末要支給額	—			—	—		85,719,090
長期預り金	入居一時金	—			—	—		73,997,835
固定負債合計								520,632,924
負債合計								667,888,301
差引純資産								2,009,088,826

特別養護老人ホームあいハート須磨

増築工事進捗のご報告

特別養護老人ホームあいハート須磨は、阪神淡路大震災が発生した平成7年の4月1日に開設しました。以来、26年間、利用者の自立支援と主体性(想い)を重視したサービスの提供に努め、二世代に渡ってご利用いただくなど、地域の皆様から評価をいただいています。

今後も安定した運営に努めて参る所存ですが、介護報酬の改定や制度変更等により、施設の財務状況は大変厳しくなっています。このような状況の改善に向け、これまで収益事業の開業や不採算事業の整理、社内制度の見直しなどの取り組みを実施してまいりましたが、現時点では十分な成果が得られておりません。一方、高齢者介護を取り巻く環境は、「2025年問題」を目前に控え、介護サービスの供給量の不足が懸念されています。

あいハート須磨ではこれらの問題を解決すべく、このたび皆様のご理解とご協力をいただきながら、増築計画に着手することと致しました。今年の3月に着工、10月に竣工予定となっています。

【完成イメージ】



増築棟構造:鉄骨造3階建 増築規模:建築面積236.83㎡、延床面積454.96㎡ (20床)

基礎工事の過程で、想定していなかった地中障害物(以前の建物の基礎)の存在が判明しました。障害物の撤去工事に伴う騒音、振動により、近隣の皆様にはご迷惑をおかけしておりました。ご理解をいただきまして有難うございました。



建設資金カンパを頂戴しました！

NTT労働組合中央本部様、西日本本部様より、あいハート須磨の増築に対して、ご理解、ご賛同いただき、多額の建設資金カンパを頂戴しました。

新型コロナ禍の中、ご対応戴きまして有難うございました。

目録贈呈の様子



NTT労働組合中央本部 喜井委員長より贈呈



NTT労働組合西日本本部 山縣委員長より贈呈

また、NTT労働組合コミュニケーションズ本部様、ドコモ本部様からも設立50周年に対するお祝い金を頂戴しましたので建設資金として活用させていただきます。

皆様からのご支援に大変感謝いたしております。有難うございました。

引き続き、あいハート須磨増築に伴う建設資金カンパを募っておりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご支援をくださった方々

《4月》

●寄付金

(建設資金カンパ)

NTT労働組合中央本部 様

(その他寄付金)

松本 雅代 様

●寄贈品

ダスキン 様

(計3件)

《5月》

●寄付金

(建設資金カンパ他)

NTT労働組合西日本本部 様

NTT労働組合コミュニケーションズ本部 様

NTT労働組合ドコモ本部 様

(後援会)

NTT労働組合関西総支部 様

NTT労働組合西日本本社総支部 様

(その他寄付金)

NTT労働組合退職者の会京都支部協議会 様

●寄贈品

ダスキン 様

奥村 直子 様

株式会社GORO 様

(計9件)



ありがとう
ございました

ご寄付、ご寄贈を頂戴しました皆様にご感謝申し上げます。

愛の家

一步一步成長していきます!

4月から愛の家「かがやき」に配属になりました「田端 香音(たばた かのん)」です。私は、大学では福祉とは異なる分野を専攻していました。

そんな中、アルバイトとして経験した介護支援や学習支援に興味を抱き福祉の道へ進もうと決意しました。

職場見学の際、利用者さんの笑顔がとても素敵で、職場の雰囲気も良かったことから「ここで福祉について学び、成長していけたらいいな。」と思い、入職させていただきました。

現場支援では、利用者さんとのコミュニケーションや、その方に応じた関わり方など、毎日が発見と勉強の連続です。先述した通り、福祉とは異なることを学んできたので、全てが初めての経験です。

そのため、分からないことも沢山ありますが、早く業務を覚えるよう先輩方のご指導の下、一生懸命頑張りたいと思いますので、皆様、よろしくお願いいたします。



▲かがやき
田端 香音

自分らしい支援を目指して

4月から愛の家「きぼう」に配属になりました「小戸 叶羽(こと かなう)」です。今年、高校を卒業したばかりで福祉の仕事は初めてですが、早く慣れるよう頑張りたいと思います。

小学校の頃、クラスにダウン症の子がいました。その子が発言すると皆が笑うということがあり、私はそれが許せず、手書きでダウン症についての本を作り、教室に置きました。

それを読んでからは皆笑わなくなり、その子も楽しい学校生活が送れたと保護者から言っていたので、その時から人の役に立てる仕事に就きたいと考えていました。

今まで、ボランティアに参加したりしていましたが、まだまだ福祉の事を充分には理解出来ていません。それでも利用者さん一人ひとりの個性を尊重し、より良い自分らしい支援が出来たらいいなと思います。

分からないことばかりですが、早く仕事を覚えるよう努力してまいりますので、皆様、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。



▲きぼう
小戸 叶羽

あいハート須磨

ベトナムから参りました。

はじめまして。ビック フェンと申します。3年前から、あいハート須磨でアルバイトしていました。初めは、介護の仕事がまったく分からなかったのですが、利用者さんと話すうちに、目が見えにくかったり、体が動かしにくくなっていたり、生活の中でとても困っていることが分かってきました。そして、どうしたらそんな利用者さんが快適に生活できるようになるだろうかと、利用者さんの役に立つために介護される側の人の気持ちをもっと知りたいと思うようになりました。

現在、ベトナムはそのような施設がとても少ないですが、次第に増えています。そのため、介護福祉士がますます必要になっています。ただし、専門的な知識をもった介護福祉士はほとんどいません。

あいハート須磨で実践的な経験を積んだ後、国に帰って介護について専門的な知識を持って仕事をしたいと思っています。また、ベトナムの介護技術、コミュニケーションのレベルをさらに上げていきたいと思っています。



▲特養
ビック フェン

皆さん、初めまして!

今年の四月から、西須磨あんしんすこやかセンターの社会福祉士として入職致しました前田昌也と申します。

私は働くうえで大切にしていることが一つあります。

私が大学生の頃、授業で認知症のおじさんが交通事故で亡くなられたことについて学びました。おじさんの介護に疲れて、介護者であるご家族がうとうとしている間に一人で外出してしまい事故に遭われたそうです。

もし、ご近所の方が『おじさんは認知症で外に出る癖がある』ということを知っていたら一人で外出されるおじさんに「どこに行かれるのですか?」と心配して声掛けができ、事故を防ぐことができたかもしれません。

私は「向こう三軒両隣り」という言葉が大好きです。ご近所さん同士が日常的に深い交流があれば、自然と近隣同士で支え合う地域ができ、様々な事故を未然に防ぐことができると考えます。私はこの考えを大切に、地域の方々と関わっていきたいと思っています。

最後になりましたが、今後ともよろしくお願いいたします。



▲あんしんすこやかセンター
前田 昌也

「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等どのようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 072-494-0123
- あいハート須磨 078-737-2525
- あいハート離宮前 078-731-2130
- 法人本部 06-6458-5723

【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団

〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73

TEL 06-6458-5723

Website <https://zendentu-kinki.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>

E-mail jigyodan@silver.ocn.ne.jp

【発行人】

理事長 橋本 寿樹

